

大石地区まちづくり協議会だより

創刊号

2012.11

発行
大石地区まちづくり協議会
松原市大石地区市民センター内
TEL 0598-34-0004



ごあいさつ

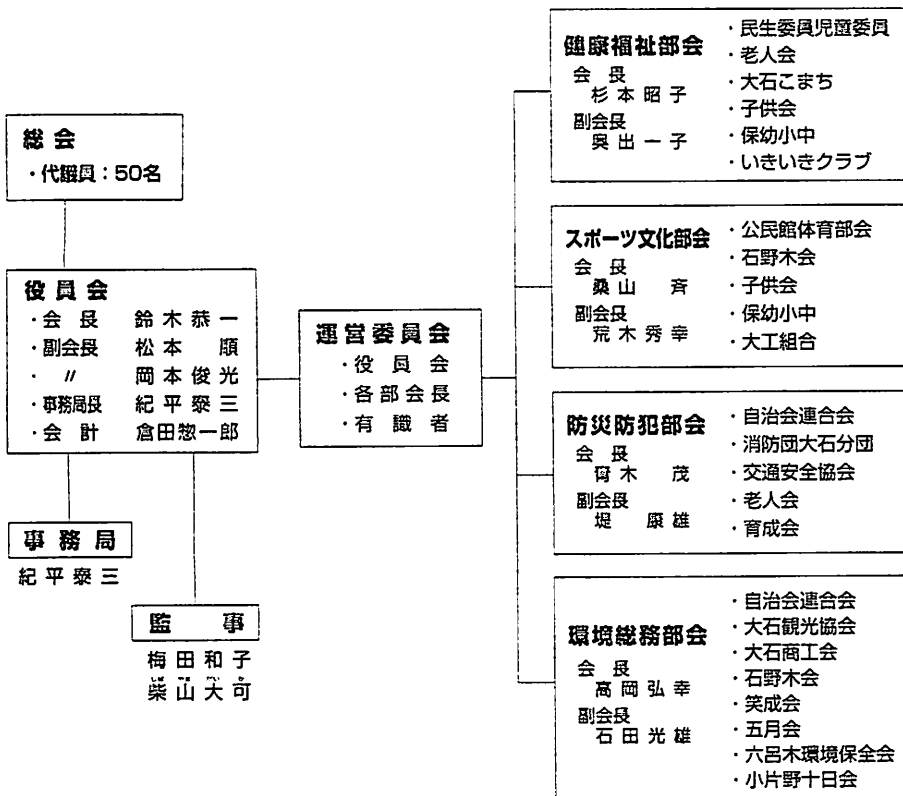
大石地区まちづくり協議会 会長 鈴木 恭一

大石地区まちづくり協議会の会報の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。当協議会は昨年9月に設立準備会を立ち上げ、平成24年2月5日に設立総会を開催いたしました。関係者の皆様には多大なるご尽力を賜りましたこと、心より感謝を申し上げます。

当地区は、国道166号の沿線に立地、都市化した小片野地区を中心に両端に六呂木地区、大石地区が位置する中山間地域であり、少子高齢化も他地区並に進んでおりますが自然環境に恵まれ、暮らしやすい地域の特性を生かして、若者が定住するまちづくりを皆様と協働して進めていきたいと思っております。

当協議会の設立にあたりその方向性、目的など関係者の方々の意見を集約した結果、大石地区の地域福祉活動計画のアンケート調査の意見を取り入れ、地域を目指す方向と目的を設定し、各組織間の連携、人とひととのつながりを、大切にしながら、安心、安全、笑顔あふれるまちづくりを進めていきます。又、地域のことは地域で、を合言葉に住民の皆様が地域主体のまちづくりに、自主的、積極的に参加していただくことを、期待しております。大石地区まちづくり協議会の組織図と事業計画は次のとおりです。

組織図



事業計画

大石地区まちづくり協議会	
4月	・白猪山登山 ・協議会総会
5月	
6月	・地区体育祭
7月	・協議会運営委員会
8月	
9月	・3地区合同グランドゴルフ大会
10月	・協議会運営委員会
11月	・文化祭 ・元気アップ教室屋外活動 ・防災訓練 ・歴史移動教室
12月	・協議会運営委員会
1月	・球技大会 (ボウリング) ・大江中学校木工教室 ・協議会運営委員会
2月	
3月	・ウォーキング

そぼくなギモン?

1. 住民協議会とは何ですか？

地域の課題を解決する為には、地域の特性を一番良く知っている住民が自分で考え活動し、満足度の高い、住民同士が連携・協働して地域全体の意見をまとめる民主的な組織が「住民協議会」であります。

2. 大石地区まちづくり協議会とは何ですか？

大石地区における住民が身近な課題を自主的に解決します。大石地区の個性を活かして、自立的にまちづくりを行う協議会であります。

3. 大石地区まちづくり協議会の目的は何ですか？

大石地区における地域の住民が身近な課題を自主的に解決し、地域の個性を生かして、安心安全で笑顔あふれるまちづくりを行う事を目的としています。

4. 大石地区まちづくり協議会に期待する事は何ですか？

多様多様化時代、少子高齢化の時代に入り、大石地区も過疎化が進んで来ています。そのニーズに応じたサービスを展開する為には、住民の視点から大石地区主体の地域づくりを実現する事こそが急務であります。そうする事が、次の世代に希望をつなぐ事に成ります。

5. 大石地区まちづくり協議会にこれから取り組みたい事業などはどんなことですか？

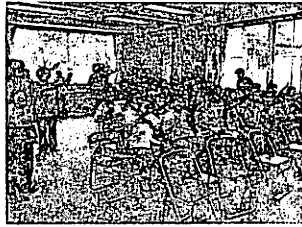
過疎少子高齢化の時代、特に高齢化に対する福祉活動を主体とし、防災、防犯、交通安全等に関する事業を、地域住民の交流と連携により行います。

健康福祉部会

元気アップ教室へ参加を

会長 杉本 昭子

私達、大石こまちは包括支援センター、市役所介護高齢課、そして三重中京大学教授 樋口先生に介護予防の重要性を学び少しでも地区の人達に伝えたく「元気アップ教室」を立ち上げました。



私達の願いは「笑顔のたえない明るい大石地区」「褒たきりゼロの大石地区」を目指しています。

場所は、大石町の蓮浄寺、大石町の普龍寺、大石市民センター、六呂木町集会所の四ヶ所をお借りして、各会場毎月1回、計4回実施しています。

教室の内容は元看護士の皆さんに協力していただき、血圧・体温・脈拍の測定、私たちメンバーが脳トレ、そして樋口先生に指導していただいた「体調調整体操」「下肢筋力トレーニング」そしてレクリエーション、楽しいおしゃべりです。

外出する事におっくうな人は勿論、たくさんの人に参加していただき、「楽しかったなあ 又、来たいなあ」と感じていただける様な教室にしていきたいと願っています。

11月8日には民生委員さんに協力していただいて社会見学に出かけます。9時30分に出発し、16時頃には帰る予定です。参加者は約60名です。各教室には会員が工夫をした手作りの看板を掲げます。是非一度、見に来て下さい。

スポーツ文化部会

活動計画に伴う取り組み

会長 桑山 斉

活動計画にともなう取り組み内容について主なものを紹介します。

白猪山登山を4月上旬実施し、小学生・中学生共に一般の参加者も参加してもらって、毎年飯南の石尊山の祭りに合わせて参加しています。



市民体育祭についても6月上旬実施し、中学生・小学生に運動会の準備等も手伝って楽しみにしてくれています。まちづくり協議会になって順位で賞品に差をつけて行ったがそれが好評でした。

次に三地区グランドゴルフ大会を9月下旬に6回目射和と南小で持ち回りで行っています。今、中学生など参加してもらおうと老人会や独居老人との触れ合いにもなると思います。

文化祭は、11月中旬に開催します。健康診断受診、骨密度等保健婦さんと話)や作品展示(墨絵・手作り作品・絵画写真等の展示)をします。

ボーリング大会は1/15日予定で、サンパークボーリング場 13時から16時前後行います。いつも小学生から70歳前後の方が参加してもらっています。毎年参加費500円で30名程度参加してもらっています。

大江中木工教室(大工組合)は1月頃予定で大工組合の人が中心になって中学生に木工作品の指導を行っています。

ウォーキングは3月上旬予定で計画し、コースを検討しています。

防災防犯部会

大石全体の住民で訓練へ

会長 青木 茂

日頃は消防団の活動にご理解ご協力を賜わりありがとうございます。

地域の防災及び防犯意識の向上に努める活動を行っていきたくと考えております。



大石消防団住民協議会(大石地区まちづくり協議会)による、防災訓練が11月25日に決定致しました。3.11の東日本大震災から1年半が過ぎ、消防団は自分たちの仕事を持ちながら大石の住民の方の生命と財産を守るため、日頃訓練をしていますが大石全体の住民の皆さんと一緒に訓練をするのが今回初めての取り組みであります。

東日本の震災でも訓練をしている地域の方は被害が少なかったです。訓練を重ねる事で被害が少なくなる事は当然であります。訓練をとおして地域の絆を深める活動にも取り組んでいきたくと考えております。

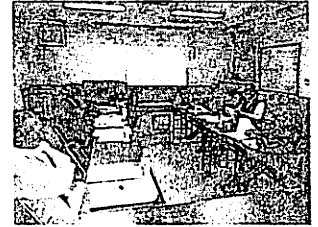
11月25日の訓練には一人でも多くの住民の皆様方にご参加をいただきます様お願い申し上げます。

環境総務部会

読んでもらう広報作りへ

会長 高岡 弘幸

環境総務部会は、自治連合会・大石観光協会・大石商工会・石野木会・笑成会・五月会・六呂木環境保全会・小片野十日会からなり、本年度は、新たにそれぞれの立場で美化環境整備に頑張っていたりしております。この大石地区まちづくり協議会の広報だよりを発行することになり、その編集が主な仕事となりました。



また各団体は、草刈・ゴミ拾い等のボランティア活動をしており、それに伴う燃料代、お茶等の代金も、大石地区まちづくり協議会の限られた予算の中から支給してもらっています。

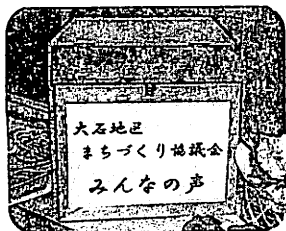
まだまだ、住民協議会(大石地区まちづくり協議会)が初年度という事もあり、どのような事業に取り組んでいかなければならないかを模索しながら、大石地区の環境整備に役立てるような部会にしたいと思っています。

大石地区まちづくりに関する「みんなの声」

平成24年2月5日に大石地区まちづくり協議会を設立し、以前の大石公民館活動を中心にまちづくりに取り組んでいます。

大石地区の方を対象にみんなの声のいろんな疑問・質問等を「みんなの声」で聞かせていただき今後の運営に役立てていきたいと思っております。

ご協力よろしく申し上げます。地域の皆様のご意見お待ちしております。



設置場所：大石町自治会長宅・大石防災センター
小片野自治会館・大石地区市民センター
六呂木集会所

※「大石まちづくり協議会」の広報紙の名前を募集しています。「みんなの声」にぜひ応募してください。

大石まちづくり協議会の 広報紙への広告スペース を作ります。

詳しくは事務局に！

発行責任者 鈴木恭一
事務局 松阪市小片野町2304-9
松阪市大石地区市民センター内
TEL 0598-34-0004